

健康長寿に係る先進的な取組事例(概要版)

小児生活習慣病予防健診

運動

食

団地まるごと

その他

事業概要

小中学生が「適切な生活習慣を早期に身につけ実行できる」「親の気づきを促し、家族全体での生活習慣を考える機会とする」ことを目的とした生活習慣病予防健診を実施し、児童生徒だけではなく、保護者家族を含めた生活習慣の見直しへとつなげていく。

事業内容(参加者数・予算等)

- 参加者数・予算
約200人、185万円
- 各学校での集団健診(7月～8月)
学校及び校医との計画、学校毎の保護者説明会、同意書での申込
申込者へのアンケート配布
- 健診結果返却準備(9月～10月)
健診後の判定基準等は大学に依頼し、校医が総合判定
- 健診結果説明会(11月)
小児生活習慣病講演会と合わせて健診結果返却
受診者中10人には再検査のすすめ及び生活習慣の保健指導を実施

事業効果

- 健診結果説明会や個別結果返却により、家族を含めた生活習慣の見直し、改善の機会ができた。
- 学校保健委員会等、結果を生かした健康教育の機会ができた。

その他

- 集団健診による空腹時採血が困難なことが大きな課題である。